

町田市議会 政務活動費

奇々怪々シリーズその3

透明性の確保の第一条件である帳簿の記載がされていない！

日々仕分け、少なくとも月次の仕分けのされている帳簿は存在しない(存在しないので公開のしようもない)。たった1頁の収支報告書だけが公開されている。

訴訟対象の3会派は、税金の支出対象である「会派の行う活動」の会計処理については、会計責任者である議員が、会派内だけでわかる符丁(暗号)によって、個人の支出額を足し上げて、会派の支出額として、収支報告している。会計帳簿なしに決算を認定する税務署はない。議員なら許されるとでも思っているのか…。

会派も議員個人にも、どちらにも説明責任を負わない仕組み(カラクリ)！？

町田市議会では実態として、会派の行う活動が乏しく、一部会派を除き、仕方なく議員個人の活動をもって「会派の行う活動」としているが、その個人の活動についても政務活動としての支出について、議員の会計帳簿や収支報告もなしで済ませている。会派としては、支出の公正性や透明性を確保し、市民に説明しなければならないのに、それが無い！政務活動の大半が個人の活動で、説明資料も存在しない。

「会派に支給」するものだから議員の活動の支出の説明責任はないのだとしている！

こうして、会派も議員個人にも、どちらにも説明責任を負わない仕組みを作っている。税金を原資としている政務活動費。町田市議会として容認しているこの仕組み(カラクリ)は、議員が好んで使う「説明責任」を果たす意思がないことは明らかだ。

◆まちだ市民クラブの2014年度・2015年度の暗号 1→谷沢 2→河辺 3→戸塚 4→わたべ 5→佐藤 6→森本 7→田中 8→石井 9→おぜき

◆2016年度は番号も名前も消える ◆2017年度《領収書等添付用紙》に小さく数字 領収書の名前はマスキング 1→おぜき 2→石井 3→佐藤 4→田中 5→谷沢 6→戸塚 7→森本 8→わたべ

政治団体「新井よしなお後援会」の所在地が

町田市玉川学園 8-18-23であることが、

東京都選挙管理委員会の政治団体届け出資料で判明！

・政治団体「新井よしなお後援会」所在地での2014年と2017年の新聞代購入費は、16万7091円、固定電話代1台分・インターネット利用料・リリーフオンと電話転送サービス等の通信費の支出は77万3243円。

・後援会事務所の新聞代・電話代が税金（政務活動費）で支払われている！

政治団体「重太郎後援会」の

東京都選挙管理委員会に提出した収支報告書に

政治活動費として収支報告したポスティング代は、政務活動費

（税金）として受け取っていることが判明！！

・政治団体「重太郎後援会」は、平成31年3月25日に東京都選挙管理委員会に収支報告書を出した。政治活動費の内訳によると、宣伝事業費（ポスティング）平成30年2月5日 17万4528円、3月7日、22万7923円、支出を受けた者の氏名はいずれも、有限会社らいふ（神奈川県相模原市二本松1-37-13）とある。

・一方、町田市議会政務活動費《まちだ市民クラブ・2017年度 広報費》の支出には、平成30年2月5日、17万4528円、3月7日、22万7923円、ポスティング代が支出されている。領収書には有限会社らいふ（相模原市緑区二本松1-37-13）とある。

・政務活動費（税金）で、選挙活動！（維新の夜明けは まだまだせよ…竜）

Suicaの詳細でまたまた判明！

白川てつや議員 農工大への通学の交通費支出か？

2014年4月から7月、計8回の支出！

・2013年都議会議員選挙の最終学歴は『学習院大学経済学部経営学科卒業』

・2018年の市議会議員選挙の選挙公報では、最終学歴『東京農工大学大学院農学府終了』

・東京農工大学農学府・農学部に関わり合っていたところ、「国際環境農学科の課程終了まで、

2014年かかる」とのこと。

・2013年以降に農工大（府中市）に通学していたことが判明！

石川よしただ議員、切手を購入し、同時にその切手で郵送！
2枚の領収証書は、通信費と広報費に分けて添付し、
支出の2重計上ー！！

・2014年8月25日の日付の、町田木曾西郵便局発行の2枚の領収証書がある。
1枚は、切手購入代金、1万6258円(領収証書発行時間は1分違い)。
もう1枚は、229通の定形郵便の送料、1万6258円を切手で支払ったもの。
・切手購入の領収証書は通信費として、政務活動費(税金)として受け取り、もう一枚の定形郵便の送料の領収証書は広報費として政務活動費(税金)で受け取る！1万6258円を支払って、3万2516円受け取る！！

みんなで渡れば怖くない状態！

《東京都選挙管理委員会に政治団体として届け出している政治団体所在地は自宅》

- ・谷沢和夫議員 【社会民主党町田総支部】
- ・森本せいや議員 【森本せいや後援会】 【鶴川地域の声を市政に届ける】
- ・佐藤かずひこ議員 【佐藤かずひこ後援会】
- ・かわべ康太郎議員 【かわべ康太郎・種まき会】
- ・戸塚正人議員 【戸塚正人後援会】 【町田の未来を考える会】
- ・おげき重太郎議員 【重太郎後援会】 【町田市民の声をカタチにする会】
- ・石井くにのり議員 【石井くにのり後援会】 【町田みらい作りの会】
- ・わたべ真実議員 【綿の実の会】(政党・町田生活者ネットワークの住所)
- ・田中のりこ議員 【田中のりここと未来を描く会】(政党・町田生活者ネットワークの住所)
- ・おさむら敏明議員 【自由民主党東京都町田市第十一支部】 【おさむら敏明後援会】
- ・石川よしただ議員 【自由民主党東京都町田市第十八支部】 【石川好忠後援会】
- ・いわせ和子議員 【岩瀬和子後援会】
- ・藤田学議員 【藤田学後援会】
- ・若林あきよし議員 【若林あきよしサポータークラブ】
- ・渡辺厳太郎議員 【渡辺げんたろう後援会】
- ・木目田英男議員 【木目田英男 後援会】
- ・松岡みゆき議員 【松岡みゆき後援会】
- ・三遊亭らん丈議員 【三遊亭らん丈政治後援会】(実家↓自宅)
- ・市川勝斗議員 【自由民主党東京都町田市第十七支部】
- ・吉田つとむ議員 【吉田つとむ後援会(東京みらい21)】 【東京みらい21】
- ・大西宜也議員 【大西のびや後援会】
- ・白川哲也議員 【政治をかえる会】
- ・新井よしなお議員 【新井よしなお後援会】(実家)

公金（政務活動費）は、外に説明する責任をのがれることはない！

2015年2月23日に提出された町田市監査委員の監査報告書

「2014年財政援助団体等監査の結果について」は、この裁判の原点です。

「2013年度の町田市議会政務活動費の交付を受けた13の会派の会計帳簿の確認を実施したところ、その結果、会計帳簿の整備を確認できたのは一会派であった。また、2会派については、不備があったものの、確認できたが、これを除く会派については不明であった。」

「公金（政務活動費）は条例・規則に基づき、組織（会派）に交付されており、組織（会派）の活動に充当されているかどうかを見る必要があります。組織のお金には、規律ある管理が求められると同時に出納の状況を組織内外に説明する責任が生じます。ましてや公金は、外に説明する責任をのがれることはありません。そのためには、会計帳簿が必要になります。」（2014年財政援助団体等監査の結果についてより）

*11月22日 原告準備書面（18）原告準備書面（19）

原告準備書面（20）を裁判所に提出しました。

11月28日 第12回期日が開かれました。

次回期日2月6日です。

2022.12.9 草の根

7年たったんだね！

